

## 第六次大野市総合計画策定幹事会（令和元年度第3回）

日時：11月28日(木) 午後7時～9時

場所：結とびあ 305・306号室

出席者 第六次大野市総合計画策定幹事会委員 42名（欠席者11名）

※別紙名簿参照

政策局長、総合政策課長、総合政策課員

1 開会 幹事長あいさつ

2 報告事項

委員の交代、欠席者、代理出席者を報告

3 議事

（1）第六次大野市総合計画の将来像について

事務局の説明 ・ 本日の検討方法

・ 計画期間を10年

計画期間を10年とすることについて了承。

その他内容についての質疑は以下のとおり。

第六次大野市総合計画の体系について

（委員）第六次大野市総合計画の体系図は第五次大野市総合計画のものと同じような体系とするという前提で進める考えか。

（事務局）第五次大野市総合計画の体系を踏襲するということは全く考えていない。まずどういった将来像にするのかというご意見を十分いただいたうえで、お諮りすることとしたい。

（委員）議事の（2）に構成が挙げられているが、第五次を前提とするということではないということか。

（事務局）本日お諮りしようと考えているのは事務局の案という段階のもの。

（委員）案ということだが、「分野」という記載があるということは基本構想の構成や基本目標を設定するという前提になっているのでは。

（事務局）事務局でも検討し、このような形がよいのではないかとということでお示ししたいと考えているが、全く違う形があるのであればご意見をいただきたい。

（委員）総合計画の体系を、こういう形で行くんだということを案として示され

るべき。議事だけ見ると、第五次の体系を前提とし、その中身を議論してもらおうというように見えてしまう。個人としては第五次では体系、上層部が抽象的なものが並べられていて、これだけでは具体的なイメージがつかみにくい構成になっている。構成はシンプルな形にするべきと考えている。事務局ではどのような形を考えているのか。踏み込んだ議論をしてよいのか。

(事務局) 基本的な方策を考える分野分けということで案を提示させていただきたい。まずは将来像についてご議論いただきたい。議論が尽くせなかったような場合はもう一度集まることもお願いしまして、十分な議論をお願いしたい。

＜質疑終了後、各グループにて将来像を検討。各グループが検討した将来像及びその検討経過等の発表は以下のとおり。※発表内容を取りまとめた一覧は別紙1のとおり＞

#### Aグループ

##### 『人と自然が輝き 誰もが生き生きと暮らせるまち』

キーワードは結、自然、令和の「和」、「つながり」が良いという意見が出た。最終的にまとまったものが「生き生き」。これまでの幹事会にて、人口が少なくなっていく中で、産業や防災などの担い手不足ということを話し合ってきた。自然も大事だが主役は人。「誰もが主役のまちづくり」ということを考えてきたので、「自然」の前に「人」というワードを出した。大野市は今でも十分住み続けられるまちという思いもあり、「暮らせるまち」とした。「生き生き」については、活力、躍動感を表している。

#### Bグループ

##### 『自然にいだかれ 結のころあふれる やすらぎのまち』

事務局案1と2の折衷案。大野らしいキーワードである「結」、「自然」、「やすらぎ」を使いたい。

#### Cグループ

##### 『人とまちが輝く 結のころあふれる 越前おおの』

事務局提示の5つの案から好きなキーワードを選び、案2を基に作成した。「まち」は「越前おおの」にした方がよい。「結」があるとながりが表現できる。「キラリ」と「輝く」は同じではないかという意見があった。「結のころ」と「やすらぎ」も似ている。

## Dグループ

### 『人が 地域がつながり 住み続けたくなるまち』

これまでの部会の内容に立ち返りキーワード等を洗い出して検討。自然、人、地域というキーワードを拾い上げた結果、一番強い思いを持っているのが「住み続けられる」ということ。将来像として明文化する際、長すぎず、伝わりやすいものである必要があることから案4を基に検討した。「美しい自然の中で」というのはいらないということになり、分かりやすく「人が 地域がつながりあうまち」とした方が分かりやすいという意見が出た。「住み続けられる」という部分は継続的な意味を持っており、象徴的な言葉として将来像に入れた方がよい。ただし、「住み続けられる」というのは受動的なとらえ方をされる言葉なので、「住み続けたくなる」という能動的な言葉に変えた。これからの10年間というスパンは、これまでの10年とは全くスピードが違ってくるものになることが予想される中、10年先も変わらず同じ将来像であるべきということを意識しながら作らないといけない。人口減少など不安要素もあるが、恐れるのではなく、大野は大野として成り立つ方法を模索しながら継続的に生き抜いていくことを象徴する言葉として「住み続けられる」ということが重要。多様性にもつながる。

## Eグループ

### 『キラリ 生き活き 結の故郷』

中部縦貫自動車道、北陸新幹線ができるという「前進」のイメージや、「結」「つながり」というキーワードも候補に挙がったが、人の心に残りやすい、覚えやすいものとするといよい。人に伝わりやすい。具体的なものは、この将来像の下にぶら下げるとよい。人や自然といった具体的な名詞を入れないことで、産業にも使えるし、人にも使える。「結の故郷」という言葉で、住み続けたいまち、住み続けたくなるまちにつながる。

＜グループごとに2案を選定。選んだ一覧は別紙2のとおり＞

＜グループで選んだ2案を発表後、幹事会全体で5つ案から審議会へ上げる2案を選定する際の意見＞

## Aグループ

イキイキという言葉の使い方を議論した。この言葉を使うのであれば、「生き生き」を使った方がよいと思う。

5案の中には人、自然、まちというものを入れた案と入れない案があるが、2案に絞る際には対極にある2案を選ぶとよいのでは。

## Bグループ

E案の「キラリ 活き活き 結の故郷」もよいが、漠然としていて何を指すのか分からない。総合計画のダイジェスト版を作るときに使うとキャッチフレーズとしてよいのでは。「結の故郷」だけだと足りないということが感想。

福祉の分野から考えるとB案が一番良い。

## Cグループ

これら5つの案はどこのまちでも通用する言葉が多い。大野らしさがどこにあるかと考えた場合に、C案が一番良い。

## Dグループ

大野市民が受動的であってはならない、能動的でなければならないという意見があった。「人が 地域がつながる」という言葉のように能動的な大野市を作っていけるような活動が必要ではないか。明快な問題点として少子高齢化がある。明快な将来像を打ち出した方がよいのでは。これから10年間を見通した問題点、これを解決するための将来像であるべきだと考える。

## Eグループ

第五次総合計画の将来像について覚えていなかった。将来像を作るに当たって、みんなが覚えやすく、キャッチーなものの方が10年間付き合っていくものとしてよいと思う。細かい内容は、その下にあればよいのでは。心に残る、頭に残る覚えやすいフレーズにした方がよい。提示された事務局案は内容が盛りだくさんで、覚えていられない。E案は具体的ではないが、どんな取り組みも、ここに向かって進んでいくという大きな目標としてよいと思う。

### (副幹事長)

E班の中で議論していた。事務局とは事務局案を示すことで委員に固定観念が生まれるのではないか、という話をさせてもらっていた。今日の結果を見ると、この5案はもとの事務局案から変わったものとなっている。今から10年付き合っていくもの、何が心に残るのかということを考えた場合、覚えやすいもの、長く付き合っていけるものが良いと思う。多数決ではなく、やはりこれがよいという2案を決める。ここで決めた案がそのまま審議会で決められるというのではなく、審議会の中でもここを変えては、という意見が出て、少しずつ変わっていくかもしれない。心に残る案を審議会に持っていきたい。

- (委 員) 10分では結論が出ないと思う。5つの案を委員へフィードバックしてもらい、個別にこの案はどうか、という意見を事務局に集約して、多い順に採用するしかないのでは。各班の考え方を踏まえて、委員ごとに2案か3案を絞って事務局で集約してはどうか。もう一度集まって、話し合いで2つに集約しようとしても同じこと(決まらない)だと思う。
- (委 員 長) 多数決もやむを得ないような気がする。ここにいるメンバーの思いはあまり変わらないと思う。
- (委 員) D班総意の意見として、どうしても2案に絞らなければならないのかということを確認したい。
- (事 務 局) 審議会の委員長に事前に相談した際、審議会に4、5案を提案されても難しいので、2案に絞ってもらえないかと言われている。
- (委 員) 5案が幹事会で挙がった意見なので全て持ち上げられないか、ということがD班の思い。一方で幹事会としての判断を、幹事長を含めた執行部に一任するという方法又は多数決という方法しかないのでは。皆さん思いがあって作られた案であり切り分けていくのは大変。
- (事 務 局) 真剣に話し合っていたものが一番ということは当然のこと。ご承諾いただけるのであれば、ご提案のあったように幹事長、副幹事長含めて、あるいは部会長含めて一度集約をしたい。ただ、結果はこれですと示すだけというわけにはいかないなので、お忙しいところ本当に申し訳ありませんが、再度お時間をいただきたい。
- また、冒頭に質問いただいた第六次総合計画の体系、分野については積み残しとなるので、併せて議論する場を設定させていただきたい。その場で皆様からのご承認をいただくようにさせていただけたらと思う。
- (幹 事 長) 再度集まっていただき、集約するという事でよろしいか。
- 本日はこれで審議を終了とさせていただく。
- (委 員) いつ頃実施するのか目安は。
- (事 務 局) 12月第2週の中で調整させていただきたい。12月22日に審議会の開催を予定しており、こちらに間に合わせたい。

#### 4 閉会 副幹事長あいさつ

いろんな意見が出て、これからの大野をよくしていきたいという現れだと思う。

#### 【会議資料】

会議次第

第六次大野市総合計画策定幹事会名簿

第六次大野市総合計画策定幹事会専門部会名簿

第六次大野市総合計画の計画期間について